

## お施主様用

# 使用上のご注意とお手入れについて

（必ずお施主様にお渡しください。）

## ⚠️ ご注意

- 本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。
- 直貼防音フローは防音性能を高めるために、裏面に特殊クッション材を使用しています。そのため、一般のフローと比べると歩いたときに柔らかく沈むような感じがします。これは、防音性能を得るための構造上ある程度やむを得ない現象です。逆に転倒時には衝撃を和らげることができます。
- 防音床材は階下への軽量床衝撃音を通常の日常生活で問題を生じない程度に抑えたものです。階下への音が聞こえなくなるわけではありません。また室外の音を遮るような遮音性能ではありません。
- 床鳴りは音の程度にもよりますが、フローの継ぎ目部分が擦れて発生していることが考えられます。これは木の性質としての調湿機能が働き、伸び縮みを生じることにより発生するもので、やむを得ない現象です。商品の性能、使用上特に問題はありません。その他、水等の液体をこぼして長時間放置した場合や、水気の多いお手入れ（ワックスを含む）をされた場合などでも起こりますので、正しいお手入れ方法をお勧めします。

## 凹み・傷

- 重量物（ピアノ・オーディオラック等）を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。
- フロー裏面に緩衝層があるため、特に壁際に重い家具を置く場合、家具が傾くことがあります。家具の手前に薄い板を敷き込むなどして、まっすぐに家具が立つようにしてください。壁際に高さのある家具を置く場合は、転落防止用の金具等を使用して壁に固定することをお勧めします。
- テーブルや椅子を引きずりますと、フロー表面を損傷する恐れがあります。足先にフェルトやゴムキャップ等を付けてフロー表面を保護してください。（ゴムキャップは種類によりフローを汚染するものがありますのでご注意ください。）
- キャスター付の椅子や家具は、フロー表面を損傷させる恐れがあります。使用される場合は、カーペットを部分敷きするなど、必ずフロー表面を保護してください。

## 床暖房をご使用の場合

- 床暖房の上に直接家具、調度品を置くと家具に熱がこもりひずみ等が発生する恐れがあります。特にピアノは床暖房の熱で旋律が狂うことがありますのでご注意ください。
- 床暖房を設置した部屋を歩いたときに、歩行感が若干異なると感じる場合があります。これは床暖房システムの構造上起こりうる現象でやむを得ないことです。故障や損傷などではなく実使用上は特に問題ありません。
- 床暖房とこたつ、電気カーペットを併用することはお避けください。また座布団などの保温性の良いものを長時間同じ場所に置かないでください。部屋が暖まりにくくなったり、床暖房の熱がこもってフローが変形、変色することがあります。
- 木には調湿機能があり、湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥していると湿気を吐き出して縮む性質があります。床暖房使用時にはフローが乾燥して縮むため、フローの継ぎ目部分ですき間があいてくる場合があります。これは生き物である木材を使用している以上やむを得ない現象であり、床暖房を使用しなくなると徐々にフローが伸びてすき間が小さくなります。
- フローに釘などを絶対に打たないでください。温水パイプを破損し水漏れの原因となります。
- 床暖房中の床面に長時間接していると、比較的低い温度でも皮膚障害を起こす恐れがあります。特に体力のないお子様、お年寄りを長時間寝かせないなど周囲の方が十分に注意してあげてください。

## 直射日光・雨水

- 窓際など直射日光が長時間当たりやすい場所は、フロア表面の日焼けによる変色やひび割れの恐れがあります。カーテンやブラインドで直射日光をできるだけ遮るようしてください。また雨水が吹き込まないように十分注意してください。冬場などで結露水が床面に落ちたら速やかに拭き取ってください。
- また、ペットの排泄物で木材がアルカリ汚染し、フロアの変色やシミの原因となります。排泄物が直接フロアに触れないようご注意ください。

## 汚れ・水漏れ

- キッチンシンク前、洗面前、浴室出口前のように常に水のかかる場所については、滑りやすくなり危険ですので必ず足拭きマットをご使用ください。
- フロアを長時間水に濡らしたまま放置すると腐蝕等の原因となりますので、速やかに拭き取ってください。
- 小水は、即座に拭き取ってください。小水中のアンモニアにより変色が生じることがあります。
- 万一、火のついたタバコを落とした場合、即座に取り除いてください。こげ跡がつくと取れなくなります。またタバコのヤニはアルコールを染み込ませたウエスで拭き取ってください。

## 日常のお手入れ

- フロアは本質的に水気を嫌います。日常のお手入れは、ごみやホコリを取り除き、乾いた雑巾やモップで乾拭きしてください。（水拭きはしないでください。）乾拭きで落ちない汚れは、固く絞った雑巾で取り除き、使用後は乾拭きしてください。特に汚れがひどい時には、中性洗剤をご使用ください。クレンザー類は表面を損傷しますので使用しないでください。濡れ雑巾を頻繁にかけますと、表面にひび割れや変色を生じることがありますのでご注意ください。
- 化学雑巾をご使用の場合は、1～2週間に1回程度とし、水濡れ箇所・ワックス掛けの前後には絶対に使用しないでください。使用後は専用の袋に保管してください。袋に入れなくて長時間床面に放置すると、フロア表面が変色する恐れがあります。尚、ご使用前には化学雑巾の注意書をよく読んで正しくお使いください。
- クレヨン、マジック、油等でフロアを汚した場合は、家庭用ベンジン等で拭き取ってください。ワックス掛けしている場合は、ワックスも取れますので、再びワックス掛けしてください。
- フロア表面は清潔にしてください。ゴミ、汚れ、ホコリ等が付着すると、抗菌・耐すべり性能が発揮されない場合があります。

## ワックス掛け

- ワックスを使用されている場合は、6ヶ月に1度程度の割合で行いますと美しさが長続きます。ワックスは水性樹脂ワックス木質用をご使用ください。事前にワックスの使用方法を熟読の上、目立たないところで試し塗り、確認して使用してください。ワックスについては、(株)リンレイ、ハイテックフローリングコートをご使用ください。
- 水性樹脂ワックス以外の厚塗り表面コート剤のなかには目地部分にワックスが溜まり、床鳴りなどの不具合が発生する恐れのあるものがあります。
- ワックスは使用方法を誤りますと、べたついたり、白くなったり、粉状になるなど、異常を起こす場合があります。特に室温が低い(5℃以下)場合や雨天で極端に湿度が高い場合は、ワックス掛けを避けてください。
- 床暖房使用中はワックス掛けをしないでください。塗りムラの原因となります。
- ワックスはフロアの表面のゴミ、ホコリ、汚れ、水気をきれいに除去後、きれいな布にワックスを染み込ませ、しずくが落ちない程度に絞って、目地に溜まらないよう木目方向に沿って、薄くムラなく塗布することがポイントです。
- 洗浄液やワックスをフロア表面に多量に撒き散らすと、製品の的外観および品質を損なうことがありますので、絶対にしないでください。洗浄液やワックスには界面活性剤が含まれ、フロアに急速に吸い込ませる性質があるため、フロアの目地部のフクレや変色、床鳴りの原因になることがあります。
- ワックス塗布後は換気を良くして十分に乾燥させてください。
- 洗浄液は使用上の希釈割合を厳守し、フロアの目立たない部分で問題ないことを確認して、ご使用ください。ワックス剥離剤(はがし液)は使用しないでください。フロア表面を侵す場合があります。

# お施主様へお渡しください。

 <p>安全に関する ご注意</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●ご使用前に、「取り扱い説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。</li><li>●商品には安全にお使い頂くための注意シールを貼ったものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。不要となった場合はお客様にて廃棄してください。</li><li>●表面が濡れていると滑りやすくなり転倒の恐れがありますのですぐに拭取ってください。</li></ul>
<p>製品保証について</p>	<p>保証内容は、保証期間中故障が発生した場合に無料修理をお約束するものです。詳しくは下記保証規定をご参照ください。なお、保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。</p>

## 東洋テックス木質床材 製品保証規定

### 1. 対象製品

保証の対象製品は、原則としてカタログ掲載の床材製品とします。

### 2. 保証条件

通常的环境下で、弊社の施工説明書、弊社ウェブページ、お手入れガイド、その他注意書きに従った施工・使用がなされている状態において、製造上の不備に起因する損害が発生した場合に保証を行います。

### 3. 保証内容

前項の条件のもと、損害が発生した場合は、損害発生直前の状態に戻す費用を上限として、保証いたします。

### 4. 保証期間

弊社製品の施工完了後又は引渡し後、2年間とします。ただし、施工完了日時、引渡し日時は、保証を要請する者（購入者）が立証責任を負うものとします。分譲・集合住宅の場合は、建築主様への引渡し日時から2年間とします。

### 5. 免責事項

製品の不具合が以下のような場合には、保証期間内であっても保証対象外とします。

- 1) 設計・施工・使用上の誤り又は不当な加工・修理による損傷
- 2) 雨水・漏水・結露などによる水濡れ
- 3) 火災・風水害・地震等の災害による損傷
- 4) 下地処理不備による外観上の変化
- 5) 経年変化による通常一般的な変色、汚れ、劣化、摩耗など
- 6) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- 7) 仕上げ面のキズなどの不具合で、引渡し時に申し入れがなかったもの
- 8) 保証期間経過後の申し入れ又は不具合発生後速やかに申し入れがなかったもの
- 9) 本来の使用（一般住宅用）の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法に起因する場合の不具合
- 10) 犬、猫、その他の小動物の害による不具合やキクイムシ等による虫害
- 11) 弊社製品の施工方法に則った施工と、弊社発行の「木質フローリング かんたんお手入れガイド」に準じたご使用方法を厳守しなかった場合に発生した欠損



本社高松市勅使町258-1  
(代)087-867-7161  
<http://www.toyotex.co.jp/>